

# 国際競争力を強化し自立する中部へ

## 国際競争力を有する 国土形成計画シンポジウム 中部のかたち

### 日本海側と太平洋側の広域連携を

二十一世紀にむかわる国土形成と中部のあり方を考える「国土形成計画シンポジウム」が三月八日、名古屋市中種区にあるホテルで開かれた。主催は国土交通省中部地方整備局・中部運輸局。日本が急速に成熟社会にシフトするなか、中部が国際競争力を強化し魅力ある国土を形成していくにはどうしたらいいのか。エコノミスト寺島英郎氏が基調講演を行い、それを受け四人の有識者が活発に意見を交わした。会場に詰めかけた市民、行政関係者ら約三百人が熱心に耳を傾けた。

#### 成熟社会の国土計画

前田 寺島英郎さんの基調講演を踏まえ、シンポジウムをはじめと思いついた。議論していただきたい。今回のテーマは「国際競争力を強化する国土形成計画」です。名目屋を中心とする中



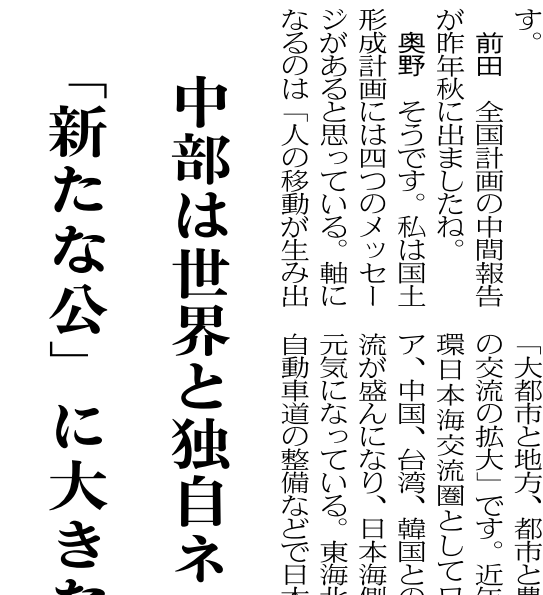
寺島 英郎氏



内田 俊宏氏



神野 信郎氏



前田 弘司氏

### 中部は世界と独自ネットを／奥野氏 「新たな公」に大きな期待／神野氏

前田 国土形成計画の中間報告が昨年末に出された。国土形成計画には四つのメッセージがあると思いついた。軸になるのは「人の移動が生み出す」

神野 地域が自立的に国土を運営していくには「道州」という単位が必要だと考えています。従って広域地方計画は「道州制」に移行する準備段階と位置づけるべきではないか。「新たな公」に関しては、それ地域の地域の実績的な取り組みの中で実体が形成されていくものだと思います。

### 自動車を補完する量産型の産業集積を／内田氏 製造業の好調を他分野に広げよう／前田氏

前田 国土形成計画シンポジウム「国際競争力を有する中部のかたち」



東濃、北勢など動く製造業に従事者を引き寄せているんです。ただし、産業集積の核となつては、自動車産業は、今後、内需の伸びは鈍化していき、私の見方は自動車産業の生産量は二〇一八年か二〇一九年頃にピークを迎えます。その後は徐々に低下傾向になるかと見られます。自動車の成長をカーブする産業群が必要になると考えています。

奥野 全面開通間近の東海北陸自動車道には大きな期待しているんです。東海環状自動車道の東側半分が愛知万博直前に開通した。一九九四年頃には開通した。二〇一四年頃には開通した。二〇一七年頃には開通した。二〇二〇年頃には開通した。二〇二〇年頃には開通した。二〇二〇年頃には開通した。

#### 基調講演

#### 21世紀の世界潮流と日本

#### 寺島 英郎氏



国土形成計画には私も参画し、計画部会の中で東アジア連携研究会の委員長をさせて頂いた。大変責任を感じています。そこでは世界経済の現状認識から話したい。これら世界人口の持続的拡大などについて話したい。これは

億八千万人がピークで、あと減り続け二〇〇〇年には四千万人になるという見込みです。日本の百年前の人口は四千万人でした。二〇世紀の日本は百年かかり人口を三億に増やした。今は各国が個性を生かしながらネットワークを構築しようと考えています。

神野 産業国際競争力を伸ばすには、中部の特性を生かしながら世界の物づくりに強くなる。世界最先端のテクノロジーの設立準備を進めたい。さらに中部産業振興協議会をつくり産官学の連携を強化しながら新規事業を支援しようと考えています。

奥野 中部国際空港は空港へのアクセスを強化する必要があります。それが二本目の滑走路です。それが二本目の滑走路です。それが二本目の滑走路です。それが二本目の滑走路です。それが二本目の滑走路です。

### 中部はアジアとの連携強化を



世界は今、有史以来の好況局面に入っています。二〇〇四年以降、世界のGDP、実質経済成長率は3%台を維持している。世界の超大国にのし上がったアメリカ百年の年平均経済成長率が2.1%といわれています。それを上回る

が、その一方でエネルギー価格を左右するまでになったマネーゲームの肥大化や、競争激化のグローバル化によるアジアの産業集積の拡大など、危うさも伴っています。その人口について日本を振り返る、厚労省の最新予測では、二〇〇五年の一

トワーク型に発展する構造に転換してしまっている。しかしアジアのダイナミズムを取り込むべきです。こうした観点に立つとき、中部の国際競争力強化に重要なのは、まずアジアとの連携強化を視野に入れた陸海空の総合交通体系の戦略的整備です。

前田 ありがたいと思います。中部圏の国土形成計画について随時情報を公開しています。→「中部の国土形成計画への取り組み」



寺島 英郎氏

寺島 英郎氏

寺島 英郎氏

寺島 英郎氏